

# 構造評定 申請図書作成要領

## — 目 次 —

§ 1.	申請図書一覧	・ ・ ・ ・ p.	1
§ 2.	構造評定提出図書(受付委員会資料)作成要領	・ ・ ・ ・ p.	2-5
§ 3.	別表作成要領	・ ・ ・ ・ p.	6
§ 4.	委員会説明用資料(抜粋版)作成要領	・ ・ ・ ・ p.	6
§ 5.	追加検討資料(部会資料)作成要領	・ ・ ・ ・ p.	7-8
§ 6.	報告委員会資料作成要領	・ ・ ・ ・ p.	9
§ 7.	最終保存図書作成要領	・ ・ ・ ・ p.	10

## § 1. 申請図書一覧

構造評定の申請から完了までの間に、以下に示す図書をご提出頂きますので、本要領及び関連する様式等に従い、ご用意下さい。

構造評定 申請図書一覧

申請図書の 目的、 提出時期、 提出部数、 種類	構造評定申請書 申請事項	構造評定提出図書 (受付委員会資料)	委員会説明資料 (抜粋版) 委員会で説明時に使用	追加検討資料 (部会用)	報告委員会資料	最終保存図書
目的	申込み	委員会(受付時)	委員会(受付時)	部会	委員会(報告時)	保管
提出時期	委員会(受付時) 開催日の前日まで	委員会(受付時) 開催日の 前日まで	委員会(受付時) 開催日の 前日まで	部会開催日の 開催時刻まで	委員会(報告時) 開催日の 前日まで	評定書発行 2ヶ月以内
提出部数	1部	資料 3部 CD-R(PDFデータ) 1枚 (変更の場合は、資料3部のみ)		3部	資料 1部 CD-R(PDFデータ) 1枚	2部
作成要領 又は書式	所定の様式	§ 2, 3 参照	§ 4 参照	§ 5 参照	§ 6 参照	§ 7 参照

(注) 1. 申請者は、委員会(受付時)において、構造評定概要の説明を「委員会説明資料」により行って頂きます。

2. 最終保存図書については、確認印を押印後、1部は申請者に返却いたします。

## § 2. 構造評定用提出図書（受付委員会資料）作成要領

### 1. 「構造評定用提出図書」の体裁について

- (1) A4版(簡易ファイル)とし、1冊にまとめたものとして下さい。  
(5cm以上の厚さになる場合は、A4版は両面印刷として下さい。)
- (2) 表紙及び背表紙には下記の事項を記載して下さい。
  1. 委員会名
  2. 件名 (建築物名称、設計施工法名称)
  3. 申請年月日 (委員会(受付時)の日付)
  4. 申請者名 (会社名)
  5. 設計者名 (会社名：設計施工法の場合は省略)

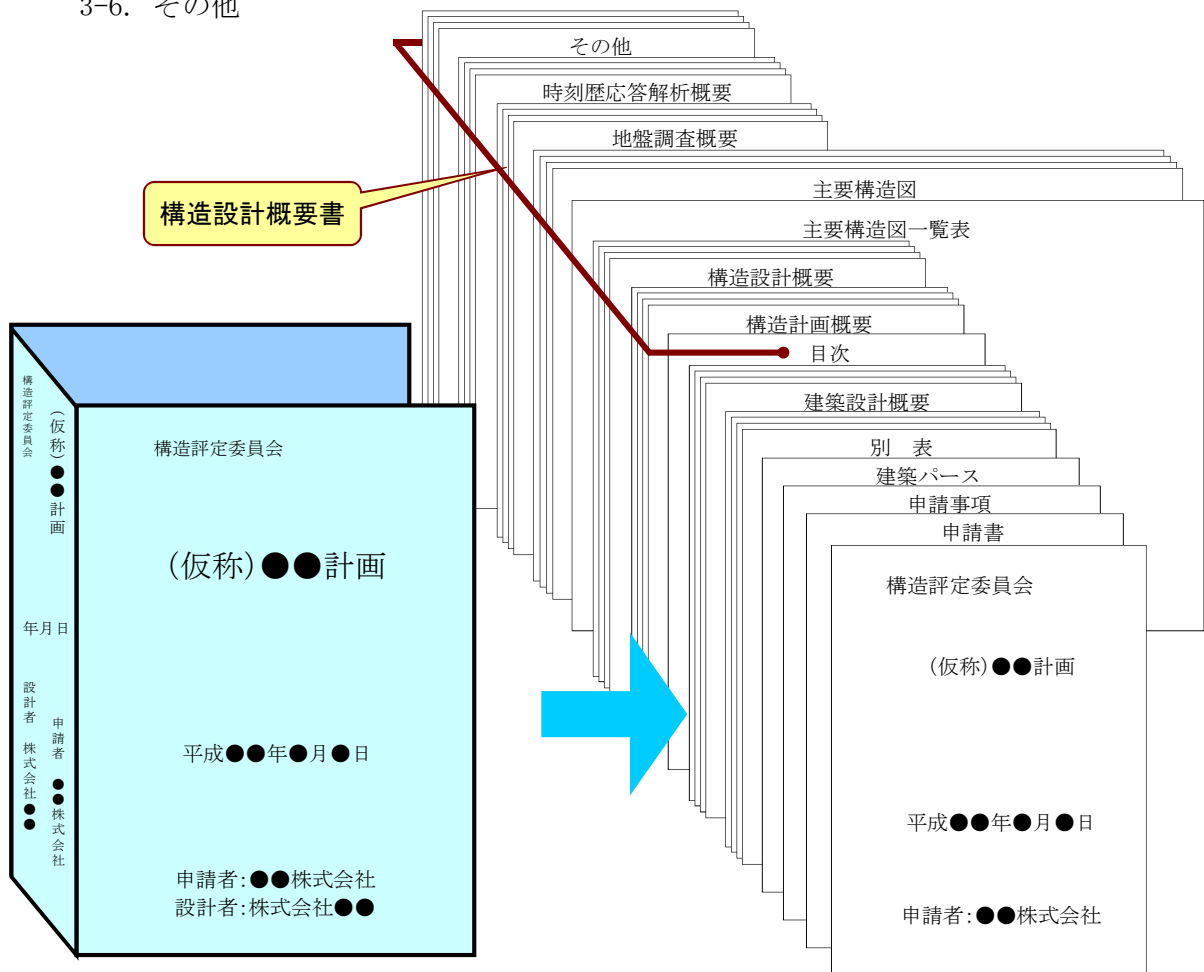
### (3) 構造評定用提出図書の構成

#### 【建築物の場合】

0. 申請書、申請事項、パース
1. 別表
2. 建築設計概要
3. 構造設計概要書
  - 3-0. 目次
  - 3-1. 構造計画概要
  - 3-2. 構造設計概要
  - 3-3. 主要構造図 一覧表・構造図
  - 3-4. 地盤調査概要
  - 3-5. 時刻歴応答解析概要
  - 3-6. その他

#### 【設計施工法の場合】

0. 申請書、申請事項
1. 概要
2. 設計施工指針
3. 技術検討資料
4. 参考資料



受付委員会前日までに、「資料3部」と「PDFデータ」を提出して下さい

## 2. 「構造評定提出図書」の目次及び構成について

### 2.1 建築物の場合

下記に示す目次及び構成を基本として下さい。なお、「別表」の詳細については、本要領の§3を参照して下さい。

#### 構造評定用提出図書の目次及び構成

##### (0) 申請書、申請事項、パース

---

- 0-1. 構造評定申請書（写）
- 0-2. 申請事項
- 0-3. パース又は模型写真

##### (1) 別表

---

- ①建築物概要及び構造概要
- ②構造設計の概要

##### (2) 建築設計概要

---

###### 2-1. 一般事項

- ①建築物名称 ②建築場所 ③地域・地区 ④用途 ⑤建築主
- ⑥設計者・監理者名（一般、構造） ⑦施工者名 等

###### 2-2. 建築物概要

- ①敷地面積 ②建築面積 ③延べ面積 ④基準階面積 ⑤容積率
- ⑥階数（地上、地下、塔屋）
- ⑦高さ関係  
（軒の高さ、建築物の高さ、最高部高さ、基礎底深さ、杭支持深さ）
- ⑧基準階階高
- ⑨構造種別（基礎、骨組、床、耐震壁、ブレース、外壁、内壁等）
- ⑩主要設備概要（空調、衛生、電気、エレベータ等）等

###### 2-3. 建築計画概要

- ①敷地周辺環境 ②全体計画概要等

###### 2-4. 主要設計図書

- ①配置図 ②各階平面図 ③主要立面図 ④主要断面図 ⑤主要矩形図 等

##### (3) 構造設計概要書

---

###### 3-1. 構造計画概要

主体構造及び架構形式、耐震・耐風設計方針、地盤及び建築物支持条件、断面設計方針、施工計画と構造計画上の関係の概要

### 3-2. 構造設計概要

- ①使用材料及び許容応力度
- ②固定荷重、積載荷重、積雪荷重及びその他荷重に関する検討  
(固定荷重、積載荷重、積雪荷重等に関する構造計算書)
- ③設計用層せん断力の検討(層せん断力の分布形等)
- ④応力解析概要 ⑤主要応力図
- ⑥部材設計(部材断面、継手、仕口等の設計)
- ⑦地下階及び基礎の設計
- ⑧耐震設計に関する検討(建築物に作用する地震力に関する構造計算書)
- ⑨耐風設計に関する検討(建築物に作用する風圧力に関する構造計算書)
- ⑩風圧、地震等に対する屋根ふき材、外装材等の検討
- ⑪長期荷重に対する使用性の検討(スラブ、小梁の計算書他) (と)
- ⑫土砂災害特別警戒区域内における居室を有する建築物にあっては、土砂災害に対する検討 等

### 3-3. 主要構造図

構造図一覧表

- ①基礎伏図 ②主要床伏図 ③主要断面図 ④主要柱はり断面リスト
- ⑤主要部材詳細図 ⑥その他の特殊設計部分構造図 等

### 3-4. 地盤調査概要

- ①地形・地質の概要 ②ボーリング箇所見取図
- ③ボーリング結果・柱状図(N値を含む地盤断面図)
- ④支持地盤の耐力判定資料
- ⑤その他必要に応じて、地下水位測定・孔内水平載荷試験・室内土質試験・P S 検層・常時微動測定結果等に関する資料 等

### 3-5. 時刻歴応答解析概要(必要に応じて)

- ①時刻歴応答解析の方針(解析手法、使用プログラム)
- ②採用地震動(地震動の選択作成方法等)
- ③応答解析結果(応答最大加速度分布、応答最大層せん断力分布、応答最大転倒モーメント分布、応答最大層間変位分布、応答最大塑性率分布及び構造計算書)等

### 3-6. その他

3-6-1. 施工計画概要(特殊な施工計画を要する建築物の場合)

- ①施工の基本方針
- ②施工管理計画(品質規準類及び管理体制)及び工法概要

3-6-2. 実験及び調査報告書

実験又は特別な調査に基づいて構造計算及び検討を行った場合はその報告書等

3-6-3. 特殊な材料(免震材料、制振部材等)及び特殊な装置(融雪装置、アクティブ制振装置等)の概要

(建築基準法第37条第二号の規定により認定された材料の場合、その認定書の写しを含む。)

3-6-4. 特殊な材料及び特殊な装置の維持管理概要

申請物件における特殊な材料及び特殊な装置に関する維持管理体制及び日常点検、定期点検、臨時点検項目及び判断基準等

## 2.2 設計施工法の場合

下記に示す目次及び構成を参考にして下さい。

### 構造評定用提出図書の目次及び構成

#### (0) 申請書、申請事項、パース

---

0-1. 構造評定申請書（写）

0-2. 申請事項

#### (1) 概要

---

設計施工法の特徴や適用範囲等の概要をまとめてください。

#### (2) 設計施工指針

---

2-1. 一般事項

①適用範囲 ②準拠規準 ③用語・記号 ④設計者・施工者の範囲 等

2-2. 構造設計

①設計概要 ②設計手順 ③使用材料 ④設計式 ⑤構造規定 等

2-3. 施工

①注意事項 ②準拠指針 等

2-4. 設計例

#### (3) 技術検討資料

---

3.1 実験報告書

3.2 設計式の妥当性の検討

#### (4) 参考資料

---

4.1 既往の論文

4.2 使用材料の認定書等



## § 5. 追加検討資料（部会資料）作成要領

以下の項目についてA4版で一冊にまとめて下さい。

### 1. 表紙

①委員会名、②件名、③資料名、④日付(部会開催日)、⑤申請者名・設計者名(会社名) (い)

### 2. 目次

3. 追加検討項目一覧表（下記の書式例を参考にA4横使いにて作成して下さい。）

### 4. 追加検討資料

5. 指摘事項回答書（委員会、部会）

6. 訂正事項（申請時の性能評価用提出図書からの訂正箇所が分かるようにして下さい。）

追加検討項目一覧表（書式例）

検討項目	検討内容	検討結果	変更内容	ページ



☆記載例

作成日 平成〇〇年〇月〇日

指 摘 事 項 回

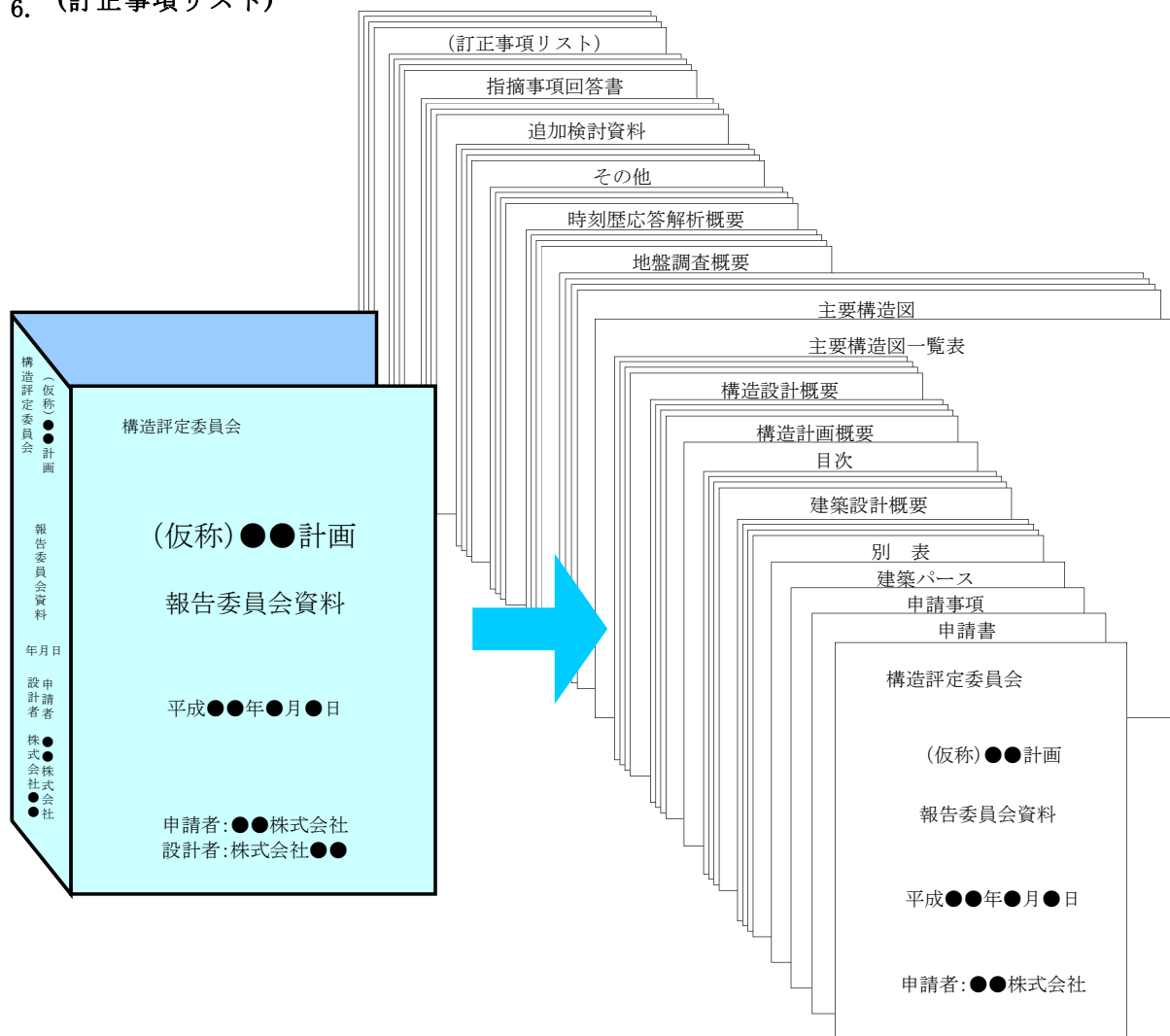
委員会の場合は  
●●委員長 以下全出席委員(専門  
委員は除く) の名前を記載

委員会(部会) 第 1 回	日 時	平成〇〇年〇〇月〇〇日 13時30分 ~ 15時30分	場 所		出席者	委評 員定	〇〇委員 □□専門委員
件名	△△△△ビル				職担 員当		
					申請者	〇〇会社 □□事務所	〇〇 □□
提出資料	1-0 委員会指摘事項回答書 1-1 □□□□に関する追加検討資料 1-2 ○○○○に関する追加検討資料				会社名及び出席者の氏名		
指摘及び検討事項 (質問等も含む)				回答及び処置			備 考
1 . . . . .				1 . . . . .			追加検討資料 2-2 P53
2 . . . . .				2 . . . . .			設計概要書
<p>箇条書きではなく、 具体的に文章(ですます調)で ご記入ください。</p> <p>質問者の氏名は不要です。</p>				<p>回答は全ての検討事項等 に対して具体的にご記入下さい。 (ほ)</p>			<p>どの資料のどこを見れば よいか、わかるように ご記入ください。</p>
<p>次回の部会までに指摘事項回答書をまとめて 3部ご提出ください。 また、指摘事項回答書は部会にて担当の委員 が確認させていただきます。 指摘事項回答書は、委員会(報告時)及び最終 版図書にも提出して頂きます。</p>							

## § 6. 報告委員会資料 作成要領

以下の項目について、下図のように簡易ファイルに製本してください。  
【建築物の場合】の事例を示します。

0. 申請書、申請事項、パース
1. 別表
2. 建築設計概要
3. 構造設計概要書
  - 3-0. 目次
  - 3-1. 構造計画概要
  - 3-2. 構造設計概要
  - 3-3. 主要構造図 一覧表・構造図
  - 3-4. 地盤調査概要
  - 3-5. 時刻歴応答解析概要
  - 3-6. その他
4. 追加検討資料 追加検討項目一覧表を含む
5. 指摘事項回答書 委員会・各部会時の指摘事項と回答
6. (訂正事項リスト)



上記資料は、『最終保存図書』に近い追加修正済みの資料となります

報告委員会前日までに、「資料1部」と「PDFデータ」を提出してください。

## § 7. 最終保存図書 作成要領

最終保存図書とは、構造評定用提出図書に、委員会及び部会で指摘された事項等については、変更、修正、差し替え等を行い、ご提出頂いた追加検討資料を添えた最終の図書です。報告委員会資料に構造評定書及び構造評定報告書の写しを挿入した物となります。

### 1. 最終保存図書の提出時期

評定書発行後、2ヶ月以内にご提出下さい。

### 2. 最終保存図書の装丁

・表紙の様子は、以下を基本とし、作成して下さい。

①材質：ハードカバー、②色：黒、③文字：金文字

・大きい図面（青焼きは避けて下さい）等は折り込んで下さい。

・表紙、背表紙の文字のレイアウトは、下図に示します。

下記要領で、2部作成し、担当職員宛にご提出下さい。担当職員により内容確認を行った上で、1部に確認済みの印を押印し、ご返却いたします。なお、残りの1部については、(株)都市居住評価センター保管用とさせていただきますのでご了承下さい。

### 3. 最終保存図書の編集要領（編集例）

巻頭に表紙の写しを付けてください。

（件名、評価番号、委員会名、構造評定書交付年月日、申請者名、設計者名）

#### 目次（例：建築物の場合）

#### 0. 構造評定申請書(写し)、申請事項、パース、構造評定書(写し)、構造評定報告書(写し)

#### 1. 別表

#### 2. 建築設計概要

#### 3. 構造設計概要書

##### 3-0. 目次

##### 3-1. 構造計画概要

##### 3-2. 構造設計概要

##### 3-3. 主要構造図

##### 3-4. 地盤調査概要

##### 3-5. 時刻歴応答解析概要

##### 3-6. その他

#### 4. 追加検討資料

追加検討項目一覧表を含む

#### 5. 指摘事項回答書

委員会・各部会時の指摘事項と回答

